

書き損じはがきやバザーの益金

ユネスコ協会に贈る

集まったはがきを小鷹事務局長らに手渡す海星学院
高校生徒会のメンバー



室蘭・海星学院高校生徒会（川端武士会長）が20日、回収した書き損じはがき2244枚を、室蘭ユネスコ協会（立野了子会長）に寄贈した。生徒たちは「私たちの活動で、少しでも多くの子もたちが助かってくれるとうれしい」と話していた。

室蘭・海星学院高校生徒会

日本ユネスコ協会主催の世界寺子屋運動の一環。生徒たちは昨年11月～今年2月末、公共施設や道南バス車内に募集を呼び掛けるポスターを貼り、商業施設などに回収ポストを設置した。はがきのほか、カトリック東室蘭教会でのバザーの売上金や募金など3万8406円、未使用切手が2万610円分、テレホンカードが12枚、多数の古切手が集まった。

同協会の小鷹信夫事務局長、間嶋定子文化部長が来校し、生徒たちははがきを手渡した。受け取った小鷹事務局長は「今年で8年目。毎年継続してくれてとても助かります」と感謝していた。

（坂本綾子）